

現在進行形のリアルな新宿を、インターネット上で 発信・記録し続ける

新宿どこでもミュージアム

everywhere everything
SDM
新宿どこでもミュージアム



新宿フィールドミュージアム
企画部会座長 安保 亮

2020年4月、1回目の緊急事態宣言により、新宿フィールドミュージアム(SFM)の活動は停止しました。参加団体をはじめ、東京・新宿の文化芸術活動も、ほとんどが自粛・延期・中止となりました。そこで「こんな時でも何かできることはないか?」と、SFMの有志が活動をスタート。「文化芸術に関わる人も、新宿の街もお店も人も大変なことになっている。まずは、その状況を残すことが大切なのでは?」と、新宿を取材して動画を作り、情報発信することになりました。これが「新宿どこでもミュージアム(SDM)」です。MCは、SFMのイベントでも司会などを務めてきたヴィヴィアン佐藤さん。この活動についてご紹介します。

YouTube



Facebook



Twitter



新宿どこでもミュージアム で検索!



[MC] ヴィヴィアン佐藤

美術家、文筆家、非建築家、ドラッグクイーン、プロモーター。ジャンルを横断して独自の見解で分析。作品制作発表だけではなく、「同時代性」をキーワードに映画や演劇、都市など独自の芸術論で批評展開。サンミュージック提携タレント。大正大学客員教授。

チャンネル
登録も
お願いします!



新宿のエンターテインメントを
支援する動画サイト「Re:Shinjuku」
<https://re-shinjuku.jp>



新宿区文化芸術復興支援事業により区内のライブハウス等の文化芸術施設の動画を配信しています



最初の取材は7月22日(水)。SFM参加団体でもある「歌声喫茶ともしび」でした。客層が高齢者中心であり、当時感染者の震央のようなイメージが付き始めていた新宿の、しかも歌舞伎町の道路向かいという立地。さらに営業時間の短縮、完全予約制で人数制限等々。極めて厳しい条件下、万全の感染対策を施して営業を再開していました。取材が終わり8月に入ると、ビルの建て替えが近付いていたこともあり「歌声喫茶ともしび」の店舗を9月末にて一旦閉店することが発表されました。そんな折り、9月上旬に稽古場で陽性者が確認されたことで一時休業。しかし9月30日のフィナーレには常連客が集い、歌を音楽を楽しみ、NHKの取材も入り、惜しまれながらも一旦閉店となりました。

その後、SFM参加団体を中心にクラウンヤマさん(道化師・2020年11月他界)、日本奇術協会、矢来能楽堂、新宿子ども劇場(未公開)、ガルバホール(未公開)、ライブハウス四谷天窓(2020年12月閉店)、フリースペース無何有、ダイニングバーLe Temps/ルタン、おでん居酒屋・花ちゃん、チケット業者ロングランプランニング株式会社、歌声喫茶ともしびのフィナーレ、ロシア料理スングリー、神楽坂まち飛びフェスタ、神楽坂 南仏料理 LE MOCCOT/ルモコ、うた声の店 家路と、11月半ばまでに16回取材。既に13本の動画をYoutubeにて公開しました。

それぞれの動画では、経緯やコロナ禍関連の話題に留まりません。数百年前の伝統文化の始まりから戦前・戦後、そして日本・東京・新宿の歴史。世界の国々の様子や関わり。それぞれの時代、各地域の人々の活動や想いにまで及んでいます。本でもメディアでもインターネットでも知り得ない、新宿で生き、継承し、邁進する人々だからこそ伝えられる、未来に残すべき宝物のような動画ばかりです。SDM活動開始当初の迷いや危機は、新宿の人々に軽く一蹴されたのでした。

2021年の活動も既に開始しており、3月には、東京フィルハーモニー交響楽団、ヴィヴィアン佐藤さん自身、プーク人形劇場の3つの取材を終え、現在動画を編集集中です。近い将来コロナ禍を抜け出たとしても、この活動を継続したいと考えています。

新宿駅 東口 ヴィレッジ

● 歌声喫茶ともしび

1950年代に自然発生して「うたごえ喫茶」誕生。その後東京に数多くの店舗が展開し大ブームに。ロシア民謡の人気は今も根強い。新店舗再開に向かい、出前うたごえ喫茶などで活動中。

歌声喫茶ともしびのWEBサイトはこちらから <https://tomoshibi.co.jp>



SDM 歌声喫茶
ともしび2020 夏

新宿駅 東口 ヴィレッジ

● スングリー

19世紀末から独自の文化が花咲いた中国ハルビン。そこで働いた現店主の祖父が満州から引き揚げ同店を開店。歌手の加藤登紀子さん、その娘で歌手のYaeさんも同店でアルバイトの経験があるという。

スングリーのWEBサイトはこちらから <http://www.sungari.jp>



SDM スングリー
2020 秋

新宿駅 東口 ヴィレッジ

● 家路

店主ピーコさん1人で切り盛りする同店。お客さんが手伝い、ピーコさんのピアノ伴奏で歌う。お客さんが持って来た膨大な楽器が壁にも天井にも飾られた、唯一無二の空間も2月に閉店となった。

家路のWEBサイトはこちらから <https://www.iej.jp>



SDM 家路2020

牛込・神楽坂 ヴィレッジ

● 神楽坂まち飛びフェスタ

「まちの手づくり文化祭」として21年続く大イベント。純白のロール紙1本700mを道路に敷いての「坂にお絵かき」も今回は展示と短めの紙となるなど、あらゆる面で例年とは異なる方法を用いながらも開催に漕ぎ着けた。

神楽坂まち飛びフェスタのWEBサイトはこちらから <https://machitobi.org>



SDM 神楽坂
まち飛びフェスタ
2020